（作成者：クリニカルパス専門部会）

ALL202-0寛解導入療法を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院：1病日 ／	2病日 ／	3病日 ／	4病日 ／	5病日 ／	6病日 ／	7～28病日：退院 ／ ～ ／	【退院後の生活について】
達成目標	・治療について理解できる	・有害事象（発熱、嘔気・嘔吐、食欲不振、便秘・下痢、骨髄抑制など）について理解できる ・症状出現時は医療者に伝えることができる				・38.0度以上の発熱がない		・入院生活で下肢の筋力が低下していますので、歩行時はゆっくり歩き、転倒に注意してください ・めまいやふらつきなどの症状が出現することがあります。体力も低下していますので、無理せず、ゆっくりとした生活を心がけてください 以下の症状がある時はご連絡ください ・37.5度以上の発熱 ・風邪症状 ・嘔気・嘔吐 ・食事や水分が摂れない 【緊急連絡先】 ・平日時間内 （8：30～17：00） 内科外来 0985-85-9883 ・土日・祝日・時間外 5階東病棟 0985-85-1789
		・嘔吐がない ・便秘がない						
内服	・薬剤師が、持参薬及び服薬状況について確認します	・吐き気止めを内服します（3日間）						
注射		・点滴をします		・医師の指示で点滴を抜きます			・点滴をします。スケジュールは、薬剤師が配布した資料を参照してください	
検査	・身長・体重測定	・体重測定（毎日）						
食事	・制限はありません							
活動・安静	・制限はありません	・制限はありません ・点滴中は安静にお過ごしください						
清潔	・シャワー浴ができます							
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・薬剤師が、資料を用いて治療（薬剤）の説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒転落予防について説明します ・がん薬物療法オリエンテーションを行います							
その他	・同意書は職員にお渡しください	・点滴の薬剤が血管の外に漏れると、その部位の皮膚に炎症が起こることがあります。点滴が入っているところに痛みや発赤、腫れがある場合は、ナースコールでお知らせください ・点滴中にトイレに行く時は、治療薬を止めることもありますので、ナースコールでお知らせください						
		・抗がん薬投与終了から2日間は、尿や便に抗がん薬が含まれます。飛散により、他の方々のお身体にも影響を及ぼす可能性もあるため、男性は座って排尿してください。排泄後は、水を2回流してください ・嘔気や下痢などの症状があればお薬を使用しますので、我慢せずにお知らせください ・37.5℃以上の発熱を認めた時には抗菌薬の投与を行いますので、すぐにお知らせください ・食欲不振時には管理栄養士と相談しながら食べやすい食事を提供しますので、お知らせください						

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。

宮崎大学医学部附属病院
2025年度7月承認